

ドキュメンタリー映画

「沈没家族」 (加納土監督/カラー 72分) 上映会

(2017年ぴあフィルムフェスティバル審査員賞受賞)

近年「子育て」の環境は厳しいものがあります。

出版ネッツ関東支部組合員の自主活動の一環として、共同保育についての映画「沈没家族」の上映会を企画しました。

二十数年前、東京で生まれた加納土(つち)監督は0歳のときに両親が別居。当時20代だった母親、加納穂子さんは「共同保育人募集」というビラを町で撒きました。

ビラを通じて出会った「保育人」たちはローテーションを組んで母子のアパートに通い、穂子さんが不在時、赤ちゃんだった監督の育児を担当します。母子は、やがて、3階建ての一軒家(通称:沈没ハウス)を仲間と借りてルームシェアをすることに…。

成人した監督が、当時の保育人たちに久々に会って、インタビューをしたのがこのドキュメンタリー映画「沈没家族」。映画をみて「血が繋がらない者同士のゆるやかなネットワーク」で子どもが育つことの意味、「多様な家族」について考えてみませんか?



監督
さしつかえ
ありません

【日時】 4月14日(土) 13時開始(～16時)

※上映のあと、監督のトークショー、参加者との質疑応答など予定しています。

【場所】 出版労連会議室
(東京都文京区本郷4-37-18
いろは本郷ビル2階)

★都営大江戸線・地下鉄丸ノ内線
「本郷三丁目」駅より徒歩5分

【参加費】

出版ネッツ・出版労連組合員 500円
それ以外の方 700円

※ファミリーでの参加歓迎ですが、お子さんの託児サービスやオムツ替えスペース付トイレの設備はありません。

【主催】 出版ネッツ関東支部 ドキュメンタリー映画を観る会

※事前予約は不要ですが、参加にあたってご質問などある方は sugimura09@gmail.com まで。

